

## コンサート・イベント科

## 海外研修

| 対象   | 1年次  | 開講期 | 通年 | 区分   | 選※ | 種別 | 実習      | 時間数 | 30 | 単位 | 1 |
|------|------|-----|----|------|----|----|---------|-----|----|----|---|
| 担当教員 | 小寺修一 |     |    | 実務経験 | 有  | 職種 | マネージメント |     |    |    |   |

## 授業概要

各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体験します。（研修先・行程は毎年異なります。）研修での英語によるプレゼンテーションのため夏休み前から事前研修を実施する。現地では、アメリカのカルチャーに触れ、有名なライブ会場や劇場、野球のスタジアムのバックステージツアーや本場のミュージカルを鑑賞する。日本とは、違った環境の中で言葉や文化の違いを感じて国際感覚を身につけ見識を広める。

## 到達目標

英語による現地の大学生へのプレゼンテーションや現地での生活を通じて英語によるコミュニケーション力をつける。海外の文化を直接体験し本場アメリカのエンタテインメントに触れ体験することにより国際感覚身に付ける。将来、エンタテインメント業界でグローバルに活躍できる感性を持った人材となることを目標とする。

## 授業方法

研修での英語によるプレゼンテーションのため夏休み前から事前研修を実施する。現地では、アメリカのカルチャーに触れ、有名なライブ会場や劇場、野球のスタジアムのバックステージツアーや本場のミュージカルを鑑賞する。日本とは、違った環境の中で言葉や文化の違いを感じて国際感覚を身につけ見識を広める。

## 成績評価方法

- \*出発前の英語の研修、研修中の態度や行動を評価する。
- \*プレゼンテーションの模様を評価する。
- \*レポートを評価する。

## 履修上の注意

英語力を身に付けるため、研修前から講義を実施する。これは、グループによる英語によるプレゼンテーションの準備の為欠席は不可欠。また、研修旅行の工程においては時間厳守で遅刻はゆるされない。集団行動が多いので、規律を重視する。自由行動においても十分に注意して責任を持って安全に行動する事。

## 教科書教材

## 海外研修資料

| 回数  | 授業計画                                     |
|-----|--|
| 第1回 | 事前研修（1）海外研修の目的を理解する                      |
| 第2回 | 事前研修（2）英語によるプレゼンテーションのグループ分け、プレゼン内容を理解する |
| 第3回 | 事前研修（3）プレゼンテーションのテーマに基づき内容を決め理解する        |

## 海外研修

|      |   |
|------|---|
| 第4回  | 事前研修（4）資料作成しプレゼンテーション内容の文章を作成する                     |
| 第5回  | 事前研修（5）英語によるスピーチ文章を作成し、プレゼンテーション資料を作成する             |
| 第6回  | 事前研修（6）英語によるスピーチ文章を作成し、プレゼンテーション資料を作成する             |
| 第7回  | 事前研修（7）プレゼンテーションの最終リハーサルを行い完成させる                    |
| 第8回  | 海外研修（LA）羽田出発＆LA到着サンタモニカなど市内研修をする                    |
| 第9回  | 海外研修（LA）バックステージツアー研修：ドルビーシアター、ハリウッドボウル、ゲッティセンター見学する |
| 第10回 | 海外研修（LA）現地研修：カルポリ大学にて交流会、英語によるスピーチ＆プレゼンテーションをおこなう   |
| 第11回 | 海外研修（LA）現地研修：エンジェルス・スタジアムのバックヤードツアー、ミュージカルを見学する     |
| 第12回 | 海外研修（LA）オプショナル研修：ディズニーランド、ユニバーサルスタジオ、グランドキャニオンを見学する |
| 第13回 | 海外研修（LA）LA出発  |
| 第14回 | 海外研修（LA）羽田到着  |
| 第15回 | 報告会校長への報告会を行う                                       |